

令和7年度 八戸駅周辺まちづくり全体会議 (令和7年8月23日)実施報告書

目 次

1. 日時・場所及び出席者	2
2. 会議の様子	3

令和 7 年 9 月

八戸市都市整備部

都 市 政 策 課

1. 日時・場所及び出席者

タイトル：令和 7 年度 八戸駅周辺まちづくり全体会議

日 時：令和 7 年 8 月 23 日（土） 14:00～16:00

場 所：ユートリー 5 階 視聴覚室

参 加 者：【盛り上がり隊】

箱崎 真也 様	箱崎 彩英子 様	工藤 騰 様
鳥谷部 勇樹 様	畑中 佳子 様	畠山 智 様

【北辰工業株式会社（エルロンウエストビレッジ）】

田島 理成 様	長根 智弥 様
---------	---------

【クロススポーツマーケティング株式会社（FLAT HACHINOHE）】

木村 将司 様

【一般参加者】

太田 わかな 様	小原 真由美 様	高橋 芳樹 様
高橋 由紀 様		

【アドバイザー】

柏の葉アーバンデザインセンター副センター長	三牧 浩也 様
まちなか広場研究所（マチニワアドバイザー）	山下 裕子 様

【事務局】

都市政策課	田邊 肇	都市整備部次長兼課長
	田鎖 隆	参事
	對馬 孝行	主査
	武藤 拓也	技査
	石橋 賢弥	技師
	工藤 滯	技師

2. 会議の様子

1. 開会

定刻に開会した。



写真1：会議の様子①



写真2：会議の様子②

2. 主催者挨拶

(事務局 田邊)

八戸駅周辺では、東北新幹線八戸駅開業を契機と捉えて平成 9 年に区画整理事業に着手し、平成 31 年に駅前広場及びシンボルロードが竣工。令和 2 年 7 月にはフラットアリーナ、令和 6 年 5 月にはエルロンウエストビレッジが開業しており、現在はフィットネスジムの建設も始まっている。

八戸駅かいわいで盛り上がり隊によるイベント、8 フェスも今年 5 月 5 日に第 4 回を開催し、デューリー東北で大きく写真が取り上げられるなど、賑わいの創出をいただいている。

本日のまちづくり全体会議には、まちづくり準備協議会や盛り上がり隊の皆様、駅周辺にお住まいの方のほかにもアドバイザーの方々にも参加いただいております、皆様と情報共有や意見交換を通じて八戸駅周辺の賑わい創出などまちづくりの機運を高められたらと思う。

3. まちづくりの経緯と状況の報告

※八戸駅西地区のまちづくりにおける経緯と状況について報告

八戸駅から見るとシンボルロード正面にフラット八戸があり、右手にエルロンウエストビレッジ、トヨタレンタカー八戸駅西口店が開店しており、左手の保留地はトヨタカローラ八戸によるフィットネスクラブが整備されている。このフィットネスクラブのオープンの時期は未定だが、地元の関わりも欠かせないだろうから賑わい創出に向けた話し合いをするには今がよいタイミングではないかと考えていた。

盛り上がり隊では毎月定例会を開催しており、7 月の定例会には八戸東高校から生徒が 4 人参加し、意見交換を行った。本日の全体会議に参加できなかった生徒の皆さんからはイベント案の資料もいただいていた。八戸東高校のほかにも八戸西高校からもお話をいただいております、今後の活動の広がりに期待を持てる部分もあるかなと考えている。



図：フィットネスクラブのイメージ



写真3：シンボルロードの様子

4.八戸駅かいわいで盛り上がり隊の取り組み紹介

(盛り上がり隊 箱崎 真也)

アジアリーグアイスホッケー・東北フリーブレイズのホーム最終戦を盛り上げるべく、2月23日に第3回8フェスを実施した。苫小牧市のアイスホッケーチームを参考にしばれ焼きを実施したが、一部赤字が発生し、盛り上がり隊のメンバー個人がその負担を担う形となってしまった。

今年の5月5日に実施した第4回8フェスでは、エルロン一周年ということもあり、一体的に盛り上げることができた。このときは盛況で黒字だったが、第3回と合わせた収支はまだ赤字という状況。後半の意見交換で今後について話し合えればと思う。



写真4：箱崎 真也 氏（中央）

5.参加者自己紹介

参加者の自己紹介を行った。



写真5：参加者①

（左から）高橋芳樹、高橋由紀、畠山智、畑中佳子、工藤騰、鳥谷部勇樹、箱崎彩英子、箱崎真也



写真6：参加者②

（左から）三牧浩也、山下裕子、田島理成、長根智弥、木村将司、小原真由美、太田わかな

6.アドバイザーを交えた意見交換

(意見・情報共有の要旨)

参加者から出た主な意見、情報共有は次のとおりだった。

- (1) 整備・開発の状況
 - 駅前広場・シンボルロードの供用後、周辺にレンタカー店舗などが立地し、歩行動線が形成されつつある。フィットネスジムは工事が進行しているが、開業時期などの詳細は未公表である。
- (2) イベント・参画
 - 8フェスは継続開催により賑わいを創出しているが、運営負担や資金面の課題がある。
 - 高校生の企画提案があり、ユース参画の場づくりが重要である。
- (3) 駐車場対策
 - イベント時・企画乗車券利用期間などに満車が発生する。
 - 臨時駐車場の借り上げ、拠点からのシャトルバス（八食センター連携等）、パークアンドライドの活用などにより、駅周辺の混雑を平準化すべきである。
 - 駐車場の大量確保を目的化すべきではなく、公共交通利用の促進と最小限必要台数の確保を基本とする。
- (4) 公共空間・緑化活用
 - シンボルロードの魅力向上として、桜の植栽・イルミネーション等の提案があった。
 - 桜は愛着形成・維持管理の動機付けに資する一方、毛虫・落ち葉などの管理課題がある。種の選定・維持管理・責任主体の明確化が前提となる。
- (5) 回遊・滞在環境
 - 試合・イベント後に滞在できる飲食機能や「横丁」的な小規模区画の必要性が指摘された。
 - 駅西中央公園などにおける日陰・ベンチ・(アナログ)時計など、気軽に滞在できる環境整備が望まれる。
 - 飲食店マップなどの情報発信により、駅周辺の回遊を促すべきである。
- (6) 連携・コンテンツ
 - JRは駅祭り（アート連携等）を企画しており、スポーツチームとの連携も検討中である。
 - アニメ作品「メダリスト」との連携（パネル展示、聖地投票等）を国スポと併せて展開する案が示された。
- (7) 体制・役割
 - ボランティア団体のみでの継続運営には限界があるため、組織的な役割分担が必要である。
 - 桜植栽のような具体施策を契機として、責任主体・協定・維持管理スキームを明確化することが有効である。

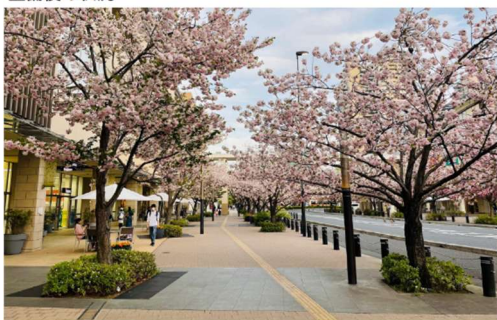
(意見交換の詳細)

意見交換での具体的なやり取りは次のとおりだった。

発言者	内容
田鎖	・ 今日初めて参加されている方から意見を聞いてみたいので、まず高橋さんから意見を伺えればと思う。
高橋（芳）	・ 八戸駅周辺は数十年前に比べると区画整理が進み大幅に変わったが、仕事で報道記者をしており、いろんな方とお話する機会が多く、その中で、当初の計画にあった連絡橋などの整備がされないままとか、住宅街の土地の売買がうまくされていないのか空き地的な場所もあるなどという話を聞いた。 ・ 八戸駅西口単独の活性化ではなく、他地域との物理的・人的・情報の連携が重要だと思うので、区画整理の進捗状況や未整備事項について、市民に向けたわかりやすい説明が必要だと思う。 ・ 北辰工業の田島さんがトランポリンパークを建てられて、テナントの飲食店もおしゃれで工夫を凝らしてやられていて、本当に素晴らしいなと思っている。 ・ 盛り上がり隊の活動もすごく面白いなと感じていて、私も仕事の立場を活かし、側面的にこの地区の盛り上げに関わっていきたいと思う。
田鎖	・ まず、区画整理の進捗についてだが、区画整理の総事業費は 280 億円、施行期間は令和 15 年度までとなっており、現時点の整備進捗率は事業費ベースでも 9 割超えており、一部地域は少し整備するところが残っているが、概ね完成段階にある。 ・ また、整備後の土地への入居が進み人口は増加傾向で、若年層の多い活気あるエリアとして推移している。 ・ 造成完了後は土地の供給・売却状況により人口増加もいつかは高止まりになる局面も想定される。 ・ 駅東口との連携については、他の皆さまからもいただいている意見とも繋がってくるので後半のほうで議論したいと思う。 ・ 地区外の道路の話は、今回の全体会議の趣旨とはまた別の話になるので、個別にお話できればと思う。
高橋（由）	・ イベントをやって赤字だったという話だが、市からの補助金などはないのだろうか。 ・ イベントの継続性を高めるためにも、資金面の支えがあるといいと思う。
箱崎（真）	・ イベントでは補助金活用の実績がある一方、第 3 回 8 フェス実施時は持ち出しが多く赤字となってしまった。 ・ 花火などのコストが嵩み、最終的に調整に苦慮した。 ・ 可能な範囲で補助金を活用しつつ、運営の工夫を重ねていきたいと思う。
高橋（芳）	・ 補助金を拡充することはできないのか。
田鎖	・ 補助制度の設計によっては予算化が可能な場合もあるが、一般的に要件・目的・申請内容などの制約がある。 ・ 持続性の観点からは、補助金依存に偏らず、収益化や自立的運営を並走させる方向でこれまで協議を重ねている。
太田	・ 駅東口周辺の有料駐車場が満車となる事例が増加しており、イベント時には駐車も困難。 ・ 八戸は自動車依存が相対的に高いため、駐車場不足は深刻だと考えており、駅西口側の利便的な駐車場拡充や無料駐車場の可否など、今後の方針を教えていただきたい

	い。
田邊	・最近の駐車場問題の報道なども踏まえ、市として対策検討を進めている。 ・満車の主因として、JR の企画乗車券提供期間及びフラット八戸・ユートリーなどのイベント開催時に来訪者が集中することが考えられる。 ・対策についてフラット八戸とも協議しており、過去に実施したように周辺駐車場の借り上げや八食センターとの連携（100 円バスの活用）などによりイベント需要を分散し、通常の駅利用分を確保する取り組みを検討準備中である。 ・無料駐車場の恒常的提供は自動車流入の誘発と過度な駐車空間化を招くため適切ではなく、必要最小限の供給と自動車依存低減を志向する考えでいる。 ・詳細は整理のうえ市民向けに公表予定である。
山下	・駐車場は目的地とはなり得ず、増設のみでは経済活性の効果は限定的。 ・新幹線駅前という高い公共交通アクセシビリティを活かし、パークアンドライドやイベント時のシャトルバスなどの機動的運用が望ましい。 ・来訪者が公共交通で来ても楽しめる状態の実現こそが目指すべき姿だと思う。
田鎖	・駐車場の話を取り上げている方はやはり多く、施設運営者側の現況をお聞かせいただき、三牧さんからもアドバイスいただきたい。
田島	・賑わいの拡大に伴い自動車来訪は増える一方、駐車場だけの都市像は望ましくない。 ・現状、対策が追いつかない間の路上・無断駐車が課題であり、早期解決が必要。 ・ただ、誰が主導して実行に移すのか、体制を明確にしないとなかなか前に進みづらいと思う。
木村	・フラット八戸も来客増により駐車困難が顕在化している。 ・市と協議の場を立ち上げ、短期対策として近隣の三条小・中の敷地を無償貸与していただいたり、八食センターと連携したバス移動の検討を進めている。 ・公共交通で来ていただくという施設本来の趣旨を鑑み、公共交通利用の浸透と市民への周知・誘導を図っていきたい。
山下	・他都市の事例で、長崎のサッカースタジアムは駅から会場が徒歩 30 分と離れているが、徒歩移動の途上で住民が小規模なお振舞いを行うことで歩く体験自体を価値化している。 ・当地区でもイベント時の通行時間帯・動線を好機と捉え、歩行体験の充実による賑わい創出を図っていけるといいと思う。
三牧	・駅西口にレンタカーが開業したことにより歩行者の流れができています。 ・最終的にどこに駐車機能を置くのが地域にとって最適かを検討できるといい。 ・その際、駅又は駐車場からフラット八戸などの目的地の間を「歩きたくなる環境」として整える視点が重要で、少し離れた立地の場合に連絡空間をどのように作っていくか今後一緒に議論できるといい。
山下	・ちなみに長崎の取り組みは新幹線駅がスタジアム付近に移転した後も、おもてなし精神を継承していこうという動きが始まっており、来訪者の交流を促す文化の形成が継続性を支えている。
工藤（騰）	・長崎のこのお振舞いは無料ということか。

山下	・お振舞いは無料で、結果として購買やファン化等金銭以外の価値創出に繋がっている。 ・スポーツを通じた交流の広がり自体が継続の動機となっている。
田鎖	・話題も駐車場からイベントに移行してきたので、次に小原さんから中高生参画に関する意見をお聞かせください。
小原	・中高生が地域貢献を体験する意義は大きく、学生のときの成功体験は将来の担い手育成にも資すると思う。 ・JR としても地域と連携した機会提供に前向きで、10 月 19 日に「駅祭り」を予定し、アートをテーマに高校生の作品展示や地元アーティストとの連携を検討中。 ・また、ヴァンラーレ八戸とも数年前から連携し試合実施日に JR のブースを出しており、現在フリーブレイズとの連携も検討中のため、今後も JR として協力できればと思う。
田鎖	・駅西口と駅東口の関わりの中で駅の自由通路が間にあるので、今後の関わりについて一緒に考えていければと思う。 ・次に同じイベント系の話題で長根さんお願いします。
長根	・私の地元では児童数が少ないこともあって学校の運動会に地域の親たちも参加していた。 ・その駅西バージョンとして、「市民大運動会」や「クリスマスイルミネーションコンテスト」などをしてフィナーレに花火が上がると楽しいなと思った。 ・シンボルロードやフラット八戸前の芝生空間を活用し、光による集客効果を狙った楽しいイベントをしたいと思った。
田鎖	・話題を空間やハードに関することに一度戻って、田島さんお願いします。
田島	・シンボルロードの既存樹木を桜にし、駅からフラット八戸を繋ぐ季節演出（春＝桜、秋＝灯籠、冬＝イルミネーション）を一体的に実施できるといい。 ・イベント時には横丁を作るのもいいし、現状のシンボルロードの活用は弱い。
箱崎（真）	・シンボルロードの草刈りをみんなでしようという話になるが、単なる草刈りは住民の動機づけに弱く、桜の維持管理と冬のイルミネーションなどの目的があれば地域参加が促される。 ・そうすればイベント時や試合などの節目に合わせた環境整備の共同作業も実施しやすい。
田島	・新幹線駅前での本格的イルミネーションは差別化要素になり得る。 ・地域企業の協賛を募る仕組みであれば実現可能だと考えている。
山下	・仙台の愛宕上杉通では、银杏の落ち葉清掃を市民で行い、枯れ葉の上で演奏するイベントでは演奏参加費を取っており、その運営がブランドを形成している。 ・シンボルロードも同様の価値づくりをしようということ。
三牧	・千葉県柏の葉でも、駅前から大学までの道で行政側と民地側がそれぞれ植栽主体となり、大学教授の助言を得て桜並木整備を進めた。 ・桜は愛着形成に資する一方、行政は落ち葉や毛虫などの苦情対応を懸念しがちのた

	め、地域合意と費用負担を伴う民主体の枠組みが有効。
工藤（騰）	・桜の話は以前から出ているが、所管部署が違うから話が進まない。
山下	・今日の全体会議などのような議論の場に、担当部署の方にも来てもらいたいというリクエストはできる。 ・ちなみに既存樹を伐採することは可能なのか。
田邊	・すぐに答えを出すことはできない。実現に向けた必要な準備の話聞くことは可能。
高橋（芳）	・陳情などではないのか。実際どのような苦情があるのか。
田邊	・薬剤散布時の歩道への虫落下など、毛虫に関する苦情がとともある。虫害の少ない品種の選択も考えられる。 ・植栽自体は不可能ではないが、実施主体と責任所在の明確化が前提であり、個人ではなく「まちづくり協議会」などの団体による実施が望ましい。
三牧	・柏の葉では10年でここまで桜の木が成長した（写真7、8）。 ・ここでは毛虫の問題はほぼ出ていない。必ず虫害が出るわけではないが、行政側はリスクゼロでない事案に慎重にならざるを得ない。
	従前の状況  写真7：柏の葉の桜並木（従前） 整備後の状況  写真8：柏の葉の桜並木（整備後）
田鎖	・空間に関する話について、鳥谷部さんと畠山さんお願いします。
鳥谷部	・未就学児向け遊具・機能の不足が気になっており、また、駅西中央公園には木陰・東屋などがなく夏季の高温下で子どもを遊ばせることに不安を感じる。アナログ時計の未設置も気になる。 ・駅西地区は人口増加傾向にあり子育て世帯も多いため、親子が休憩・時間管理しやすい環境を整備してほしいと思う。 ・桜についてだが、十和田市の官庁街通りの桜並木が有名だが、遊歩道には浅く水が流れており、夏場木陰になって子どもを遊ばせられる。 ・近隣の公園に東屋はないが、桜の木の下での水遊びで涼を取れる。同じような仕掛けをこの地区でも何かできそうだなと思った。
畠山	・施設利用者・居住者双方の利便性向上を基本に、試合後に余韻を楽しめる飲食機会が充実するといい。 ・東口の店舗情報が見える化し、回遊と交流を促すべきだと思う。 ・駅周辺の滞在空間（ベンチ・喫茶など）も不足気味なので、少しでも過ごしやすくなると嬉しい。

山下	・日陰は重要であるが国内の先行事例は限られている。台湾の公園では可搬式シェードなどが使用されている。 ・大屋根などの恒久施設が困難でも、日陰や水辺などの寄り場があって遊んでいる人の姿があるというのをイメージしやすいことが大事なので、公園の利用シーンの発信が重要。 ・来訪者向け飲食マップについて、編集物を整えることで「到着後に何をするか」の会話を生み、回遊を促進することができる。
田鎖	・残り時間も限られてきたため、発言者の順番を整理する。 ・箱崎彩英子さんから横丁などのお話を、続いて三牧さんから空間づくりについて、工藤騰さんから企画紹介について、最後に畑中さんからイベント実施時の課題についてお話いただきたい。 ・箱崎彩英子さんお願いします。
箱崎(彩)	・駅西口に横丁的飲食エリアがほしい。 ・遊んだ後に歌って飲める集いの場があれば、来訪者・住民の交流が深まり、駅周辺の賑わいが一層促進されると思う。
三牧	・柏の葉も区画整理で生まれたまちで気軽に行ける呑み屋がなかった。 ・そこで高架下に小規模区画の屋台街を整備するプロジェクトを 3 年かけて実施した。 ・大規模テナントに限定されると出店機会が乏しいため、挑戦しやすい「箱」の用意が有効になる（柏の葉では3坪で月額約15万円）。 ・また、建設中のフィットネス施設計画に示されるフットサルコートやイベントスペースなど、屋外へ活動がしみ出す構成がとても重要。 ・新幹線駅前で運動風景が視認できる環境は稀であり、「スマート・スポーツシティ」の趣旨に合致するため、関係者間で役割分担を明確にしつつ段階的に実現できるといい。
田鎖	・工藤騰さんお願いします。
工藤（騰）	・漫画「メダリスト」を活用して盛り上げ活動できないか考えている。 ・アニメ第1期は今年1月に放送され、第2期は来年1月放送見込みで、漫画にはフラット八戸や駅西中央公園が登場するため、第2期で放送されるかもしれない。 ・国スポ（フィギュアスケート会場がフラット八戸）の時期に合わせ講談社協力のもとパネル展示などを実施し、来訪者の SNS 発信を促すことを目指して、フラット八戸と講談社とで調整中。 ・アニメツーリズム協会によるアニメ聖地登録のための投票を推進する活動も今後行っていきたい。 ・放映内容の確定後は、市観光課・VISIT 八戸などと連携し、アニメツーリズム協会加盟や物産コラボ、周遊企画の展開を検討していきたい。
木村	・フラット八戸としても非常にありがたい話。盛り上がり隊の岡田さんがスケート連盟の会長でもあり市にかけあっていただいて、市国スポ準備室と連携し様々な検討が始まっている状況。 ・施設側としても皆さんからの意見を広く受け止め、実現に向けて可能な支援を行っていききたい。

田鎖	・畑中さんお願いします。
畑中	・10月11日、12日のアジアリーグ・アイスホッケー開幕戦に併せ、盛り上がり隊によるイベント実施を検討していたが、日程確定後に主要メンバーの都合が合わずイベント実施は困難となった。 ・運営に関わる人員が固定化・不足し、一企業や盛り上がり隊のみでの賑わい創出の継続は限界がある。 ・今後のイベント企画は、盛り上がり隊会員募集や協議会化などにより担い手を広げる仕組みが必要だと思う。
田鎖	・10月のイベントについて東高校生からも提案があったが、実施主体・役割が明確でない。 ・盛り上がり隊への過度な依存を改め、代替体制を含めた運営の在り方について今後皆さんと議論していきたい。
山下	・盛り上がり隊は「核」ではなく、この地区を盛り上げる複数チームの一つだという位置付けを共有すべき。 ・熊本の花畑広場では、市職員の支援のもと最寄りの高校生が広場で作戦会議をし、イベントを実施している。 ・高校生も提案で終わらず、主体的に企画の中心を担い、市職員などが後方支援する体制が望ましい。 ・低コストの社会実験例として、兵庫県尼崎では簡易ステージと照明を用いた有料カラオケ企画を実施しており、小規模イベントにも可能性がある。
箱崎（真）	・10月のイベントの話だが、第4回8フェスでは畑中さんらにかなり頼った部分もあり、当日の運営もスタッフが少なく大変だった。 ・10月のフリースタイル関連のイベントはより動けるスタッフも少なくなる。三方よしを損なう運営は継続性を欠くため、ボランティア任せではなく、少し堅い組織基盤の下でまちづくりに関与していきたい。
高橋（芳）	・協議会のような組織が立ち上がる機運はあるのか。目標時期を明確にしたほうがいいのではないかな。
田鎖	・まちづくり準備協議会は立ち上がっているが、組織形態・規約・構成員などは検討途中であり、まだはっきりと見定めきれていない状況。
山下	・組織化は目的ではなく手段のため、ただ立ち上げても仕方がない。 ・今回桜植樹について皆さんの気持ちがあるように感じたので、桜植樹を共通目標として機運醸成を図ってみるのも一つの方法。
田邊	・所管・責任主体・維持管理・安全対策などの条件整備が前提となる。 ・個人・企業・協議会など、実施主体の在り方も含め、可能性を確認していきたい。
畠山	・桜植樹について、事務局が可否や条件を調査し、参加者へ回答する必要があると思う。
田鎖	・今後、条件について調査はしていく。盛り上がり隊の定例会の事務局は今後もやっていくので、毎月定例会の中で今回出た話について引き続き議論していきたい。